

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

9月号/2013年9月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

■ 平成25年8月20日(火)

8月通常例会

■ 会場/生涯学習プラザ
18:30～例会
19:00～講演会

テーマ「いわきの将来を見据え、中小企業の進む道を考える」

講師 藻谷 浩介氏



皆さん、こんばんは。

世間からは「景気がいい」と、言われているいわき市の皆さん、果して皆さんがその恩恵を受けているかどうかは分かりませんが、少しお話しをしたいと思います。

今のいわき市の現状が、この先も永遠に続くはずもなく、これからの4年間は世界的に見ても、いろいろな事が噴出する4年間になるだろうと思っています。

また、この4年間には南海トラフ地震が起こる可能性があると言われ、500年や1,000年に1度の東日本大震災ではなく、南海トラフ地震は70～80年

◆誕生月プレゼント

ポトスが贈られました。

新妻 弘道さん(8月14日生)
小沼 郁彦さん(8月18日生)
猪狩 謙二さん(8月20日生)
山崎 勇一郎さん(8月28日生)

寺主君男代表幹事



に1回起こっていますから、なおさら心配です。

さて、本題に入ります。震災前半年のいわき市と、それから10年前のいわき市の統計数から比較をしますと、まず人口が1万5千人減少しました(年平均0.4%減)。その1万5千人の内の1万人は子供が減少しました。これから考えますと65才以上の高齢者が40年で倍増し、子供の数は55年でいなくなる計算です。15才から64才の現役世代の生産年齢人口が減少しているのです。この状況のままでいくとすると75才以上の方は10年で47%増えることになる、これがいわき市の現実です。

仙台市はどうか。人口は3万8千人増えたが子供の数は減り、高齢者が増えた(79%増)。日本の地方都市は年寄りしか増えない。若者は首都圏へ？

東京ではどうか？

東京においても人口減少と高齢化が進んでいる。日本全体において人口の減少と、高齢化が問題になっています。現役世代の減少は、これから先にいろいろな問題を多く含んでいます。

土地が上がる、家が売れない、店がつぶれる、タクシーの客がない、これらはすべて景気や日銀や役人のせいだという人がいるが、それは違う。

この現状にどのような対処をするべきか？

いわき市の中小企業はどのようにすればよいのか？

○人口を増やす。若者から高齢者までの被災者の受け入れ。

○交流人口を増やす。特に日本に来る豊かな外国人観光客の受け入れを促す。



○福島第一原発の廃炉や原子力研究機関、コンベンション機能の誘致を図る。

○自然エネルギーの拠点基地づくりなどの提言がありました。

講演の後、質問の時間には会員より人口構成の中での未婚率の問題、カジノ施設誘致の可能性、これからの介護のあり方、医療の問題等の質問がありました。具体的な現場の実例を上げてお話を頂きました。先生の豊富な経験と市町村関係の統計数字や地域特性を詳しく把握した上でのお話、忌憚のない語り口、大変勉強になりました。

略歴

1964年6月18日生 山口県周南市(旧徳山市)出身

1988年 東京大学法学部第1類(私法コース)卒業

1988年 日本開発銀行(現・日本政策投資銀行)入行、営業第三部配属

2011年 東日本大震災後、内閣官房東日本大震災復興構想会議専門委員会委員、国交省「社会資本整備審議会」臨時委員

2012年 ㈱日本総合研究所 調査部 主席研究員(現職)

懇親会風景



8月グループ会報告

経済特区研究グループ会

■日 時 8月28日(水曜日)18:30～
■場 所 だいこん家

今回は、納涼懇親会を開催。参加者お一人に5分間のスピーチをして頂き、最後は安島担当副代表のスピーチを頂き、メンバーでそれぞれの情報交換を行なった。楽しい一時を過ごすことができました。

まちづくり観光グループ会

■日 時 8月20日(月曜日)18:30～
■場 所 いわき市学習プラザ

いわき市の人口減少の流れは着実に進行していることを数字として確認し、未来への危機感を再認識することができました。全ての施策は、この事実を重く受け止め、これをベースに考えなければなりません。藻谷先生からは忌憚のない意見、そして貴重な4つのアドバイスをいただきました。

- 1.若者から高齢者まで被災者を受け入れ、共存共栄
- 2.交流人口（特に海外の富裕層をターゲットに）の増加
- 3.福島第一原発廃炉等原子力研究機関とコンベンション機能の誘致
- 4.自然エネルギーの拠点都市（人口減少動態を考慮し、自給バランスを考えての戦略）更にはこれらの施策を実現するためには、スピード感が重要。今、すぐ、実現に向け行動しなければならない。当日はいわき商工会議所、いわき青年会議所の皆さんにも参加いただきました。今回の藻谷さんの講演は、今後の我々の活動の方向性を確認するためにも非常に有意義な講演会であったと考えます。我々いわき経済同友会の活動は藻谷さんの4つ

の提言を重要視させていただき、その実現に向け、どのように計画し実行していくかをあらためて再確認していかねばなりません。カジノ特区構想も非常に有効な大きな施策であることを実感しましたので、スピードアップしていく所存です。いわき市を再構築し、持続発展するためには今行動しなければならないことを痛感しました。

資質向上研究グループ会

■日 時 8月21日(水曜日)18:00～
■場 所 磯 勘

- 8月グループ会は、田町の磯勘にて暑気払いとしました。まず、吉田グループ長より、本年度前期の活動報告がなされ、参加者の皆様より意見を頂き、その後、後期の活動内容の意見交換を致しました。
- *後期においても出来るだけ、移動例会を望む声が多かった。
 - *国府田会員の乾杯により懇親会に入りました。後は、皆で情報交換会となりました。

〔9月予定放送〕FMいわき「いわき経済同友会だより」

- ・9月2日 第1グループ会 片平 正夫様
- ・9月9日 情報委員会 小野 英典様
- ・9月16日 第3グループ会 後藤 一弘様
- ・9月23日 第2グループ会 マリクサリーム様
- ・9月30日 " " 高原 繁美様

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

新入会員紹介



しもやまだしょうご 下山田省吾

会社名/いわき信用組合
事務管理部長
業 種/金融業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字童子町3-13

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seiawaki.jp>
E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長/小野英典・鈴木清友・田村慎太郎
馬場 学・山崎勇一郎